

JFAセーフガーディングポリシーの策定について

～子どもたちをエンパワーするために～

Japan Football Association

JFA



前提

- JFA100周年に合わせて発信する。サッカーファミリー、次の100年へ向けた指針にしたい。
- これまでも取り組んできたが、まだまだ強化・徹底が必要である。
- アフターコロナ 誹謗中傷等への対応を含む。
- FIFA、AFCからの要請もある。
- 日本ユニセフ協会等、外部団体とも連携する。
- 海外の事例を参考にしつつ、既に行っている取り組みを統合し、ポリシーを自分たちの言葉でしっかりと構築する。
- サッカーファミリー安全保護宣言との位置づけを明確にして出す。分量や層の面での差異、関係性を明確にする。
- 宣言は重要なもので、その中でも特に子供や弱者を、という関係を明確にする。

基盤となるもの

JFA2005年宣言

【2005年】

JFAグラスルーツ宣言

【2014年】

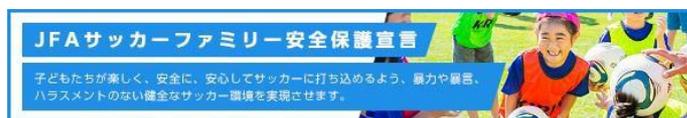
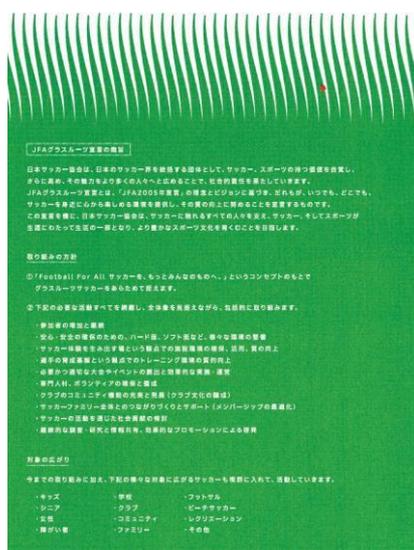
JFAサッカーファミリー安全保護宣言

【2019年】

FIFAガーディアンズ

【2019年】

参考：イングランドFA Safeguarding Children –Policy and Procedures– 他



これまでのJFAの取り組み

● リスペクトの取り組み

- ・ リスペクト宣言、リスペクトフェアプレーデイズ、
- ・ シンポジウム、アウォーズ、委員会活動

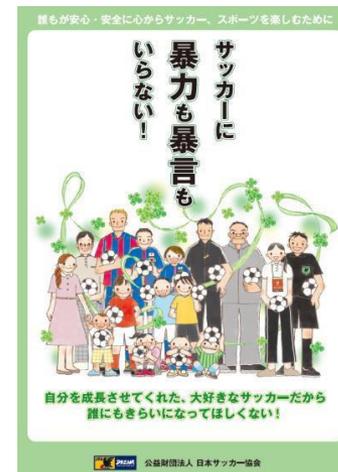
● 指導者養成

- ・ 指導者による宣言
- ・ 指導者養成で内容に含める リフレッシュ研修等

● 暴力根絶相談窓口開設

これまでのJFAの取り組み

- ウェルフェアオフィサー(WO)制度の開始
 - ・ WOジェネラル養成、マッチWO養成、クラブWO養成
- プロモーション
 - ・ ポスター作成
 - ・ 映像作成
- 選手への取り組み
 - ・ リスペクトワークショップ
 - ・ 選手のためのハンドブック
- サッカーファミリー安全保護宣言
 - ・ 懲罰規定の厳罰化
 - ・ 暑熱対策、AED普及活動 等



本ポリシーの目的

子どもたちがサッカーを安心・安全に楽しみ続けられる環境を生み出す。守り続ける。子どもたちをエンパワーする。
そのために、関わるサッカーファミリーに拠り所となるポリシーを示す。

本ポリシーの対象：

サッカーにおけるすべてのサッカーファミリー/ステークホルダー

サッカー、スポーツを安心・安全に楽しむことは、すべての人の権利であり、サッカーファミリー全体にとってとても大切なことです。そして、その環境を確保することは、サッカーに関わるすべての人に科された役割でもあります。

基本原則

子どもたちの安心・安全を守る

1. 子どもたちの喜びを広げ、成長を促す環境をつくる
2. 子どもたちに選択肢を与える
3. 子どもたちの声を聞き対話する
4. 子どもたちの安心・安全を守る
5. 健康や環境リスクに対処する

ゼロ・トレランス 私たちは許さない

6. あらゆる暴力・暴言を排除する
7. あらゆる差別を排除する
8. あらゆるハラスメントを排除する
9. あらゆる誹謗中傷を排除する
10. 子ども同士の問題にもアプローチする
11. サッカー外の問題にも気づく
12. 負の連鎖を断ち切る

そのためにも

13. 適切な人が子どもたちに関わるよう取り組む
14. 子どもたちを守るためにも、誠実に子どもたちに向き合う
大人の安心・安全も守る
15. 起こったことへの対応とともに、予防・教育を重視する
16. 現場をオープンに。リスクの芽に気づき、声を掛け合う
、伝え合う文化をつくる

そしてこれは

17. ファミリー全員の役割・責務であり、全員が当事者意識を持つ必要がある
18. 定期的に現状や手順を評価し、状況の変化に応じてアップデートする必要がある

今後、実行すること

・ウェルフェアオフィサーのネットワークを確実に機能させる

都道府県サッカー協会、各種連盟、リーグ
大会
各クラブ
ML 情報共有

・クラブウェルフェアオフィサーの設置推進

この問題に取り組んでいることを内外に明確にする
JFA、47都道府県サッカー協会との連携窓口
クラブ内啓発のコーディネーター

・ケース対応の手順のチャート

対応の際の留意事項 共有
範囲・役割等明確に

- ・クラブのフィロソフィー、大切にすること、方針の明文化。
確実な共有

メンバー、スタッフと前提として確認する
子どもたち(+保護者)がクラブを選ぶ際の手がかりとする

- ・クラブでのリスペクトワークショップの実施
(クラブ内で定期的に実施)

全少で実施しているタイプのワークショップ
選手のためのハンドブックを使用したワークショップ

- ・健全育成クラブ基準の検討・提示

基準の項目を提示し、達成すべきことの目標としてもらう



- ・リーグ単位で、シーズンの初めにセーフガーディング
ワークショップの開催推進

Thank you.

